

家事・育児は
女性の方が向いている？

管理職は男性の方が
向いている？

性別で教科の
得意不得意がある？

サポート役は
女の子の方が良い？

給食をおかわり
するのは男の子？



教育現場に潜む
無意識の思い込み

アンコンシャス・ バイアスって？

What is
Unconscious Bias?

サッカーといえば
男の子、
ピアノといえば
女の子？


男の子は青、
女の子はピンク？

メガネをかけて
いる子は真面目？



INDEX

Unconscious Bias

 令和4年度
性別による「無意識の思い込み」実態調査について P.02


 調査結果について ~4コマを添えて~ P.03

子どもたちにもある? P.03

憧れの校長先生 P.05

育業は誰のもの? P.07

得意科目は何? P.09

 調査結果を受けて P.11

令和4年度 -アンコンシャス・バイアス- 性別による「無意識の思い込み」 実態調査について

調査概要・目的

「無意識の思い込み」(アンコンシャス・バイアス)は、本人が意識しないところで行動や意思決定に影響を与えている。性別による「無意識の思い込み」は周囲の言動の影響を受け形成されるとの仮説に基づき、その実態を把握するため、教育機関と連携し、児童(小学校5・6年生)、保護者、教員を対象とした実態調査を行った。

効果的な普及啓発や子どもの進路・職業の選択肢拡大に向けた施策検討につなげることを目的とした。

調査設計

対象 都内公立小学校の児童(5・6年生)、保護者、教員

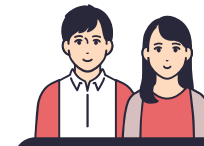
回答者数



児童

6,622人

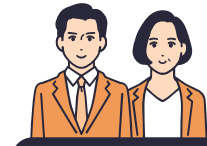
(標本数10,020人)



保護者

2,174人

(標本数10,020人)



教員

899人

(標本数1,827人)

標本抽出

学校名簿から対象の学校を無作為抽出し、抽出した学校に在籍している児童・教員の全員及び児童の保護者(児童1名に対して保護者1名)を対象とした。



Unconscious Bias



子どもたちにもある？



「将来、「サッカー選手、保育士」になりたい」と聞いたとき、どんな児童を想像しましたか？

自身の経験や、実態として多い・少ないを基準に、つい男性らしい職業、女性らしい職業と考えてしまうことはありませんか。

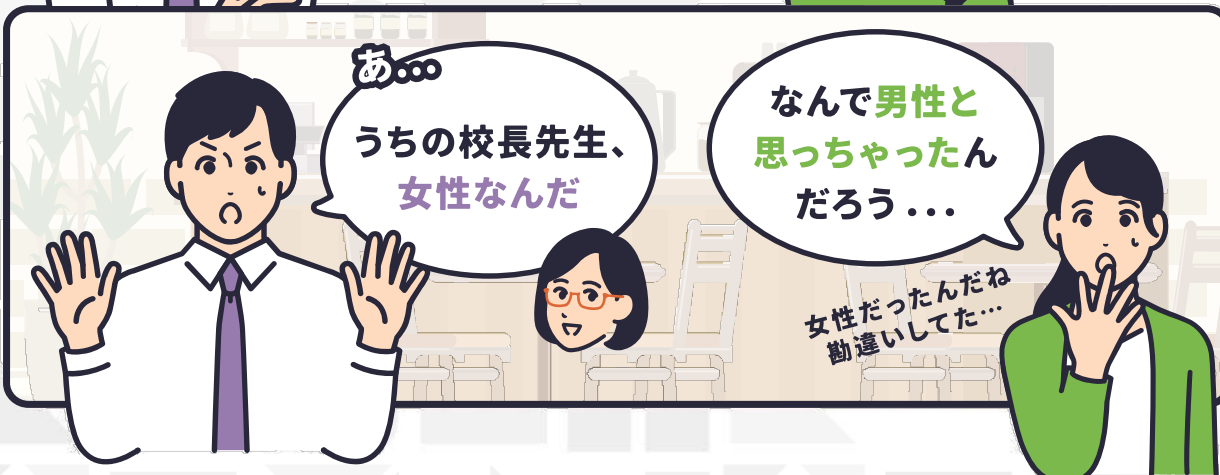
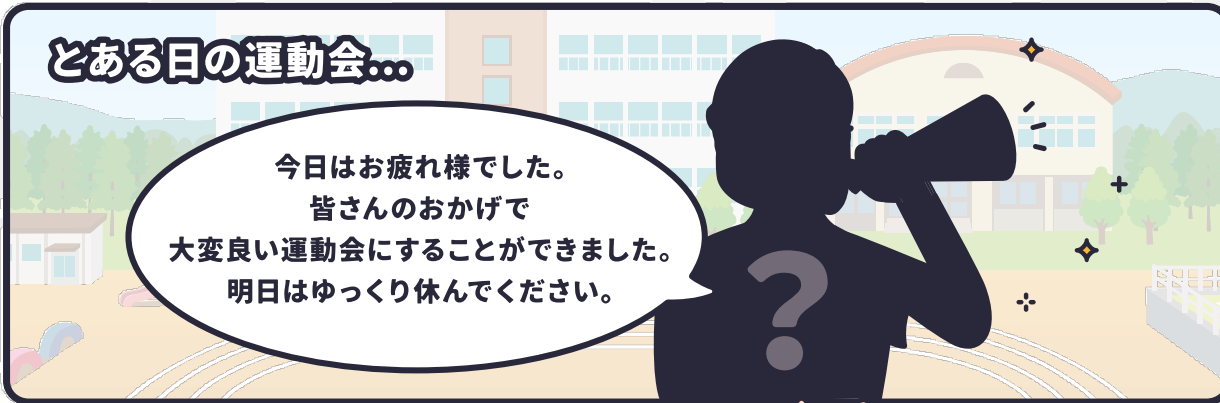
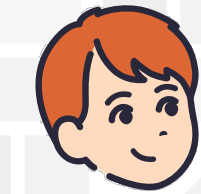
東京都の行った調査では、周囲の大人から性別を理由とした意見を言われた経験があると、子ども自身が思ったことを言えない傾向があることが分かっています。何気なく発した言葉が、子どもたちに影響を与えることに注意しましょう。



子どもの成長にかかわる大人一人ひとりが、
発言内容に気をつけないといけないね！



憧れの校長先生

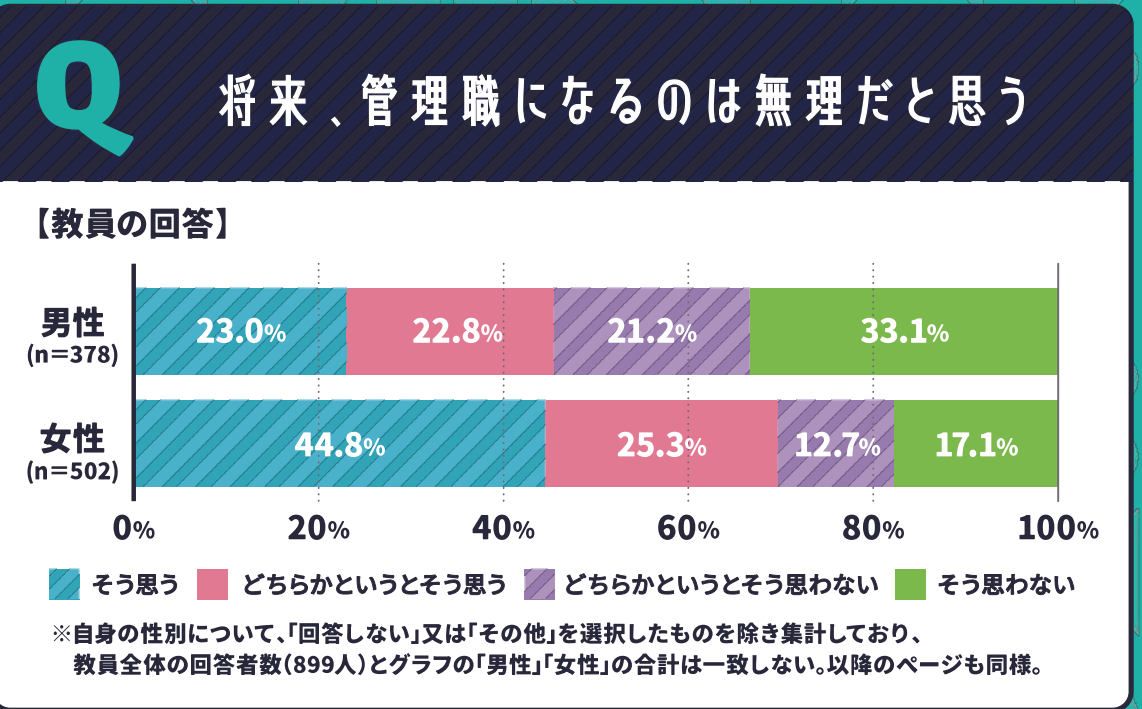


「校長先生」と聞いたとき、どの性別の人を想像しましたか？

人は無意識のうちに、肩書や属性を理由に、その人の性別を決めてしまうことがあります。

ついつい想像してしまうのは悪いことではありません。

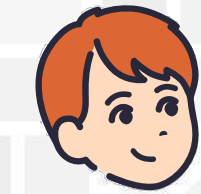
ただ、この「ついつい想像してしまうこと」で、いつの間にか「校長先生」といえば男性」と決めつけてしまい、自分の可能性を狭めてしまったり、チャンスを逃してしまうことがあるので注意が必要です。



女性の約7割が管理職になるのは無理だと思っているんだね。男性と女性でこんなに違いがあったんだ!



育児は誰のもの？



同じ学校で働いていた2名の鈴木先生が異動になって

3年間お世話になりました！

鈴木先生

次の学校でも、頑張ります！

鈴木先生

1年後...

去年までいた鈴木先生が、子どもができて育児を取るらしいです！

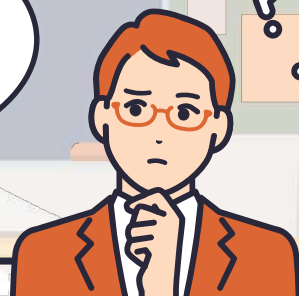


そうなんですじゃあお祝いを贈りましょう！



数日後...

鈴木先生のお祝いを考えてるんだけど、産休っていつから取るのかしらそれまでに渡したいよね...



あら...

なんで女性と決めつけてたんだろう

てっきり女性の鈴木先生の方かと思ってました...

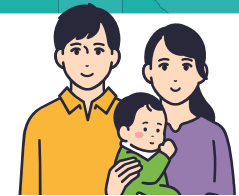


育児を取るのは、男性の鈴木先生の方ですよ！



育児^{*}のコンセプト

※「育児」=育児休業



育児は、「**未来を担う子供を育てる大切な仕事**」です。「業」には、「仕事」という意味のほか、「**努力して成し遂げる**こと」という意味があります。**苦労も大きい**が、**その分、幸せも大きい**のが育児であり、**育児は正に育「業」**です。「**育児のために仕事を休む**」のではなく、「**大事な仕事である育児に取り組む**」と考えるマインドチェンジを進め、**男女を問わず望む人誰もが「育児」**できる社会を目指しましょう。

「育児」は女性が取得しているイメージが強いかもしれませんが。

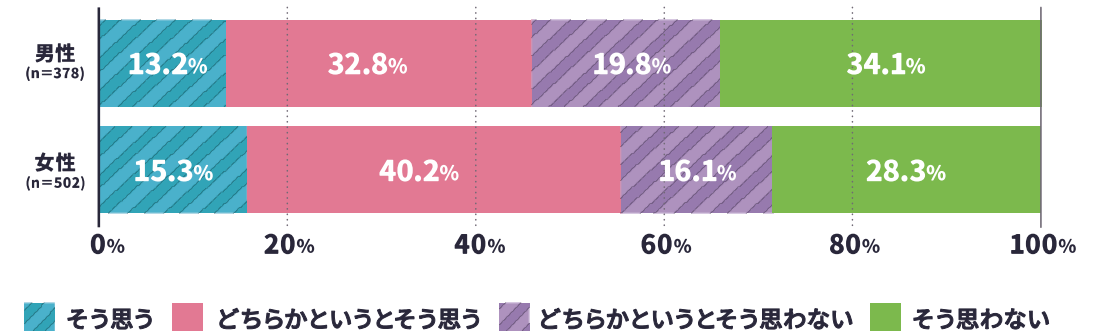
実際、教職員の育児取得率を比べると、**男性29.2%***に対して、**女性80%***と男女で取得率に差があるのが現状です。

パートナーの仕事と家庭の両立を支援するためには、**男性がもっと家事や育児に参画しやすい雰囲気作りを進める**ことが重要です。

*東京都教職員「ライフ・ワーク・バランス」推進プラン(令和3年4月改訂)東京都教育委員会より

Q 育児は女性が取ったほうが良いと思う

【教員の回答】

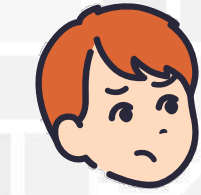


約半数の人が「**育児は女性が取ったほうが良い**」と思っているけど、**男性も育児を取得して、協力して育児に取り組む**ことが大切だよ



Unconscious Bias

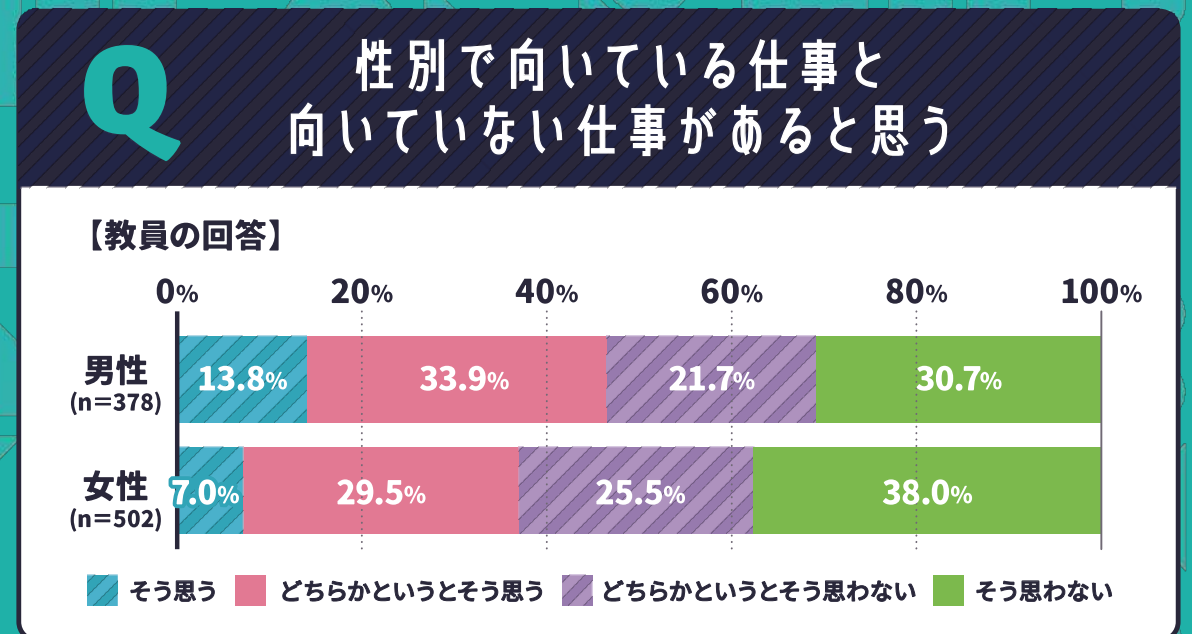
得意科目は何？



家庭科は女の子の方が得意、体育は男の子の方が得意、ついそう思って
しまうことはありませんか。

東京都の実施した調査でも、約2割の教員が「家庭科は女の子の方
が向いていると思う」と回答しました。

また、将来の仕事の向き不向きに性別が関係あるかを聞いた質問では
男性で5割、女性で4割近くの教員が「そう思う」と回答しました。



無意識に言動に現れることがあるからこそ、
日頃から自分にあるアンコンシャス・バイアスを
振り返ってみることが大切だね



Key Point

調査結果のポイント

Key Point
01

「男性/女性だからと思うことがある」という意識は、自身の言動に影響を与えている

Key Point
02

周囲の大人の発言は、子どもの性別に対する意識の形成に影響を与えている

Key Point
03

職業に対して、性別による向き・不向きがあるという意識は、大人にも子どもにも多く見られた

アンコンシャス・バイアス と向き合っていくために・・・

アンコンシャス・バイアスはだれでも持っているもので、アンコンシャス・バイアスをもつことは自体は悪いことではありません。

ただ、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、知らず知らずのうちに**相手を傷つけてしまったり、自分の可能性を狭めてしまう**ことがあります。

多くの人がそうだから、これが正しいではなく、「**100人がそうでも、101人目は違うことを思っているかもしれない**」と考えることで、自分の中にあるかもしれないアンコンシャス・バイアスに気づくきっかけになります。

自分自身が、性別を理由に、子どもたちの未来の可能性を狭めていないだろうか？

子どもたち自身も、「**私には無理だ**」と自分に対して無意識に思い込んでいないだろうか？
といった視点で、もしかしたら「**これはアンコンシャス・バイアスかもしれない!?**」と少しずつ意識していくことが大切です。

調査結果の詳細はこちらから

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/danjo/wlb_top/0000001841.html



見やすいダッシュボードはこちら

<https://tinyurl.com/bdehmjr7>



東京都

東京都生活文化スポーツ局都民生活部男女平等参画課

Tel:03-5388-3189

